

NIPPON STEEL CLIP & GROUP CLIP

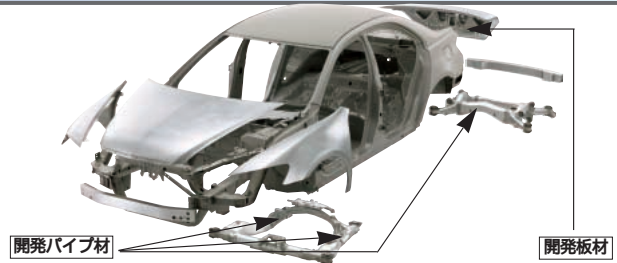
新日鉄発行のプレスリリースは、ホームページ www.nsc.co.jp に全文が掲載されていますのでご参照ください。

当社開発の高温成形用5000系アルミニウム合金が、新型レジェンドに採用



新日鉄、古河スカイ㈱、本田技研工業㈱共同開発のアルミニウム合金が、新型レジェンドに採用された。「新高温ブロー成形用の5000系アルミニウム (Al-Mg系) 合金板」がトランクリッド・フレームに、

「自動車サブフレーム用5000系アルミニウム (Al-Mg系) 合金パイプ」がフロントおよびリア・サブフレームのメンバー部品用材料にそれぞれ採用され、自動車車体の軽量化の観点から適用の拡大が期待される。



自動車サブフレーム用の5000系アルミニウム合金パイプ

新高温ブロー成形用の5000系アルミニウム合金板

構造部材であるサブフレームをアルミ化する場合、成形性に限界があり、効率的な構造設計が難しかった。今回の開発で、これまでの成形法では製造困難な複雑形状の成形が可能となった。

自動車パネル部品をアルミニウム合金板で製造する場合、常温でのプレス成形性の限界により、適用部位、デザインに制約がある。今回の開発で、これまで通常のアルミ成形法では製造困難であった部品のアルミ化の道が開かれた。

お問い合わせ先
新日鉄・自動車鋼板営業部
自動車アルミグループ
TEL 03-3275-5941

中国で自動車用鋼管事業の事業提携

住友鋼管㈱、住友商事㈱、新日鉄、および住友金属工業㈱の4社は、今般、住友鋼管㈱および住友商事㈱が中華人民共和国広東省広州市に設立した自動車用鋼管の製造・販売事業会社に新日鉄が事業参画することで合意した。住友鋼管㈱および住友商事㈱が2003年11月に設立した自動車用鋼管の製造・販売事業会社「住友

鋼管(広州)汽車配件有限公司」に、新日鉄が970千ドルの第三者割当増資引受により出資(出資比率15%)し、共同で事業推進する。出資各社の連携のもと、中国において高品質の自動車用鋼管を安定的に供給し、需要家ニーズに応えることで、各社の自動車用鋼管分野における総合的な営業力のさらなる強化を図る。

広州友日汽車配件有限公司
(GUANGZHOU YOU-RI AUTOMOTIVE PARTS CO.,LTD)

- ・ 資本金: 6,470千ドル
- ・ 出資構成: 住友鋼管51.0%、住友商事34.0%、新日鉄15.0%
- ・ 営業生産開始: 2005年1月(予定)
- ・ 総投資額: 8,000千ドル
- ・ 生産能力: 1,000~1,500トン/月
- ・ 従業員数: 約100名

新世代鋼矢板「ハット形鋼矢板900」を開発

新日鉄、JFEスチール㈱、住友金属工業㈱は新世代鋼矢板「ハット形鋼矢板900」を開発した。これは、ハット形状 有効幅900mmの薄肉大断面形状 継手位置の壁体最外縁配置で、大断面で施工性に優れ、構造信頼性が高く、経済的に壁体を構築できる画期的な鋼矢板。開発した

のは「SP-10H」と「SP-25H」の2種類。単一圧延材としては世界最大幅の鋼矢板の試圧延に成功し、施工性能および構造性能を確認したことから、今後各社で製品化を図る。「長尺および近接での優れた施工性」、「高い構造信頼性」、「優れた経済性」を活かし、護岸・岸壁はもとより、

道路擁壁・調整池・下水道・建築等幅広い用途に鋼矢板の適用範囲の拡大が期待される。

お問い合わせ先
総務部広報センター
TEL 03-3275-5022



中国 / 武漢鋼鉄向けコークス乾式消火設備(CDQ)を受注

プラント・環境事業部は、武漢鋼鉄(*)からCDQ(Coke Dry Quenching equipment / CDQ)を受注した。当社は2001年に武鋼より1号CDQを受注しており、今回が2基目の受注。新日鉄はCDQ設備のトップサプライヤーで、累計納入・受注実績は全世界で新設42基、改造

6基を数える。当社は2003年に、中国でのCDQ設備、省エネルギー・環境保護設備の設計・製造・販売等を目的に「北京中日聯節能環保工程有限公司(北京JV)」を設立しており、中国国内でのプロジェクト実行体制が整備されたことも高く評価され、今回の受注となった。

*粗鋼生産量中国第3位の高炉一貫製鉄メーカー
北京JVの概要
・ 資本金: 750万人民币、
・ 出資比率: 新日鉄60%、
北京首鋼設計院 40%
・ 主な業務内容: 中国におけるコークス乾式消火設備、およびその他省工

ネルギー・環境保護設備の設計、製造、販売等

お問い合わせ先
製鉄プラント第一部 営業グループ
TEL 03-3275-6114

新日鉄コンサート

11月放送予定 毎週日曜日22:30~23:00 ニッポン放送

7・14・21日 **パリ室内管弦楽団**
ハイドン: フルートとオーボエのための協奏曲
ベートーヴェン: 交響曲 第7番 イ長調 op.92ほか
モーツァルト: 歌劇フィガロの結婚 序曲K492
28日 **紀尾井シンフォニエッタ東京**
指揮/トレヴァー・ピノック
モーツァルト: 交響曲41番八短調K.551
「ジュピター」ほか

一部地域により、放送局・放送時間が異なる場合があります。

紀尾井ホール

11月主催公演情報から

7日 シリーズ「歌」Vol.4 ドラマをつくる女性たち
~メゾとアルトの競演今日は私が主役
モーツァルト: 歌劇「フィガロの結婚」より
“恋とはどんなものかしら” ほか
出演/ 井原直子 (Alt) 郡愛子 (M-Sop) 経種廉彦 (Ten) 谷池重子 (Pf)

20日 **鶴澤清六の生涯【邦楽】**
出演 解説/渡辺保(放送大学教授)

お問い合わせ・チケットのお申し込み先: 紀尾井ホールチケットセンター
TEL 03-3237-0061 受付 10時~19時 日・祝休 <http://www.kioi-hall.or.jp>



国際鉄鋼協会(IISI)第28代会長に三村社長が就任

10月3～6日にトルコ・イスタンブールで開催されたIISI第38回年次総会において、三村社長が次期

会長に就任することが決まった。三村社長は「世界の鉄鋼産業の発展のために尽力したい」と抱負を

述べた。



釜石港にコンテナフィーダー航路が開港

平成16年10月14日(木)、釜石港と東京港/横浜港/仙台港を結ぶ内航コンテナフィーダー航路が開港された。本航路は、釜石製鉄所の中国向け商品の輸出に利用され、今後他地域向けにも適用していく。内航コンテナフィーダー船は最低寄港ロットが15FEU(40フィートコンテナ換

算で15本:約360トン)と輸出在来本船の寄港ロットよりも少なく、概ね2週間に1度の割合で釜石製鉄所専用棧橋に寄港する見通し。コンテナの荷役は、釜石製鉄所の全天候バースを利用し、今後は鉄鋼製品のみならず、地場企業の利用も計画されており、地域経済にも貢献し

ていく。

*本航路は、平成16年3月に岩手県港湾ビジョン・アクションプラン策定協議会が策定した「岩手県港湾ビジョン・アクションプラン」において、短期(平成15～18年度)の開港を目標とする最重点施策に位置付けられている。



お問い合わせ先
釜石港湾振興協議会事務局
釜石市総務企画部港湾振興室
TEL0193-22-2111(代表)

「堺第2区」の愛称を募集します

堺製鉄所旧高炉・焼結地区およびの2埋立地(平成元年竣工)の合計233ヘクタール(「堺第2区」)では、この度一部の土地開発に着手し、約1年半後には商業アミューズメント施設、流通施設等が開業する見込み。堺北エリア開発整備協議会(大阪府、堺市、新日鉄等で形成する組織)は、「堺2区」に代わる新愛称を公募する。

- ・募集期間:2004年11月1日(月)～12月31日(金)
- ・発表時期:2005年4月(予定)
- ・最優秀賞は1点 賞金20万(同名多数の場合は、抽選で1名を決定する。)
- <申込方法>
- 右記のいずれかの方法で申し込みください。
- 1)ホームページ <11/1(月)～12/31(金)開設予定>
- ・愛称募集ホームページアドレス: <http://www.e-aisyo.com>
- ・応募要領を参照の上、応募フォーマットに記入、送信
- *FAXによる応募も可能:06-6944-3655
- 2)はがき付き愛称募集案内を、堺市役所で配布予定

お問い合わせ先
堺北エリア開発整備協議会
愛称募集事務局
TEL06-4707-7756
(平日9:00～18:00)
E-mail: boshu@e-aisyo.com

『文藝春秋』掲載の当社広告が200号に

新日鉄が総合月刊誌文藝春秋に毎月掲載し、読者の方々から好評の広告が、本年10月号で200回を迎えた。これを記念して、(株)文藝春秋から、内田取締役総務部長に記念品が贈呈された。文藝春秋掲載広告は1988年3月号に長田清左さん(その後ジュリー・ドレフュスさん)の各所・各

部門現場探訪の企画が始まり、1996年からは現在のジオラマシリーズとなった。贈呈に際して(株)文藝春秋取締役の丹羽不律氏は「経済的に厳しい環境の中でも広告を通じてものづくりについての説明を継続してきたことは大切です」と述べられた。また、スタート間もないころから当社

広告を担当してきた同社広告局長の五井幹雄氏は「一回一回テーマを決めて作り込んでいることに新日鉄の事業展開の広がりや深さを感じます」とこれまでを振り返った。

200回目の当社広告が掲載された
2004年10月号表紙



社会貢献活動の頁をリニューアルしました

この度、ホームページ充実化の一環として、「社会貢献活動頁」をリニューアルしました。企業の社会的責任(CSR: Corporate Social Responsibility)の取り組みに注目が集まる中、社会貢献活動についても最新情報を即時に掲載することにしました。

広報センターでは、2001年7月のホームページリフレッシュ以降、IR、環境経営、グループ会社、

文化・スポーツ等の情報発信強化に努めており、1日あたりのアクセス数は約4倍に伸びています。広報センターでは、今後とも、インターネットの特長を最大限に活かした活用を図っていきますので、ぜひご活用ください。

お問い合わせ先
総務部広報センター TEL 03-3275-5016



スペースワールド通信



©SPACE WORLD, INC.

『特撮スタジオツアー』大好評開催中!

～2005年1月10日

懐かしい雰囲気映画街を通り抜けると、賑やかだった往時の日劇ロビーが姿を現す...。日本映画が最も元気だった昭和30年代の撮影現場をオープンセットで再現し、東宝作品を中心とした映画の舞台裏を、スペースドームの巨大スペースに展開します。ブルーバックを使った撮影やゴジラの背びれなどが作れる型抜き体験など、映画の撮影現場も体験できます!ぜひお楽しみください!

お問い合わせ先
スペースワールド・インフォメーションセンター
TEL. 093-672-3600
URL <http://www.spaceworld.co.jp/>

	大人(中学生～64歳)	小人(4歳～小学生)
フリーパス	3,800円	2,800円

0～3歳・65歳以上の方は無料